

令和7年度 学校関係者評価委員会

- 開催日時 令和7年11月5日(水) 16時～17時30分
- 開催場所 鹿児島県医療法人協会立看護専門学校
- 参加者 学校評価委員 外来講師 1名 実習先病院 2名
外来講師・卒業生 1名 卒業生 1名
保護者 1名 地域 1名
学校側 副校長 教務主任 事務長 教務事務

○令和6年度学校自己点検自己評価の説明

【教育活動】

- ・令和6年度は鹿児島県で専任教員養成講習が開催され、当校からも1名受講した。

【教育成果】

- ・学生の意思を尊重しながら就職支援を行っており、就職率100%であった。
- ・令和6年度看護師国家試験100%合格。
- ・再履修科目の多い学生や心身の機能に特性がある学生には、個別のケースに合わせ学びの環境整備に努力し、保護者とも面談を重ねながら支援するようかかわってきた。

○学校の現状報告

- ・学生が定員よりかなり少ない状況である。少子化や大学志向、看護師は大変というイメージ等も関係している。学生確保は本校だけの問題ではなく他校も苦勞していると聞く。
- ・学生確保に向けて、オープンキャンパスを年2回実施。また学校見学・オープンキャンパス参加者には入学検定料免除を継続して実施している。
- ・社会人入学者の年齢が40～50代と高くなっているが、学習にも意欲的でクラスに良い影響を与えてくれている。また、来年度入学予定者の中にも40代の方がいて、社会人が複数人受験をしている状況。今後社会人の転職希望者にも焦点をあてて募集活動を進めていきたい。

○議案

1) 本校の学生募集について

- ・県外からの学生も受験しやすくする。
- ・社会人学生の受け入れに関して、補助金等の利用等や法人協会立の看護専門学校であることの強みもアピールしてもよい。
- ・社会人の学生がどこで学校を知ったか、入学を決めた理由、卒業後の状況などをInstagram等で発信できたらよい。

- ・学生に学校のよいところをInstagramや口コミで発信してもらう。
- ・社会人入学者の枠があるのは、受験する方に安心感がある。もっと社会人でも入学できることをアピールした方がよい。また、専門学校卒業後の資格取得なども興味があると思う。
(大学の資格だけでなく、就職後に習得した資格など)

2)その他

- ・実習病院において、学生の実習受け持ち患者様の決定は、打ち合わせ内容や学生の背景を考慮して決めている。
- ・病院で退職していく方の理由に、家族が看護師を勧めたから看護師になったという理由で続かない方がいる。自分は本当に看護師になりたかったのか、また、病院奨学金がプレッシャーになっているケースもある。
- ・病院では、職員全員が臨床心理士の面談を受けるようにしている。面談により時短勤務に切り替えたり、配置を変更したりすることで少しでも対応できるようにしているためか退職者が減っている。
- ・実習生を受け入れる中で、実習に臨む姿勢や学習時間不足など学生像も変化していると感じる。
- ・地域では学校祭など学校との交流を楽しみにしている人もいる。

学校より

- ・県外からの受験者については、オンライン受験対応をホームページに掲載しているが厳しい状況である。
- ・学生の心身の相談は、学校の外来講師の医師や心理学の講師によるカウンセリングを活用し、学校も個別面談などで対応の手立てを探っている。
- ・実習に関して気がかりな学生には、複数人教員を配置したり、実習病院や患者様へ迷惑のかからないように十分に配慮している。

【地域の情報】

- ・地域の交通事故の発生場所や迂回路について情報提供あり。
- ・学校周辺で工事が始まっており、安全運転に注意してほしい。

○次年度に向けての確認

- ・社会人の転職希望者にも目を向け学生募集を続けていきたい。
- ・今後も学生の特性を教員だけでなく、実習先とも共有し実習や学習に取り組ませたい。
- ・合理的配慮については、教員が研修会に参加したり当校の対応の整備を進めている状況である。